

城山城(津市戸木町)

戸木城攻めの城として築かれ、主郭は 25m×12m の規模を持つ単郭方形で、二重囲みの堀を設けていて、堀・土塁に折れが見られることから宮山城跡の縄張りによく似ています。おそらく宮山城落城後に同一の設計者によって、宮山城の改修とほぼ同時期に城山城が造られたと考えられます

「城の歴史」

天正 12 年(1584)織田信雄の家臣であった木造具政は、戸木城に立て籠り、羽柴秀吉と戦った。秀吉は田丸直晶や小島民部少輔らに命じ、戸木城に対して四ヶ所の付城を築かせた。この城もこの時築かせた付城である可能性が高い。

伊藤印刷印刷部「津の城跡」による

